

久保 亨教授 研究業績一覧 1977-2018年

下記は、2018年3月に信州大学人文学部を退職された久保亨先生の研究業績一覧である。業績は、著書・論文・書評・その他の4つに分類し、刊行年の順に排列している。なお、先生の略歴を本文末尾に掲載した（編集担当）。

著書（共著・編著・共編著と記されていないものは単著、編著・共編著に執筆した論文は別掲）

- 『中国経済100年のあゆみ——統計資料で見る中国近現代経済史』創研出版，1991年。
- 『中国経済100年のあゆみ——統計資料で見る中国近現代経済史』第二版 創研出版，1995年。
- 『20世紀中国の企業経営に関する歴史的研究』信州大学，1995年。科研費研究成果報告書。
- 『戦間期中国〈自立への模索〉——関税通貨政策と経済発展』東京大学出版会，1999年。
- 『興亜院と戦時中国調査』（本庄比佐子，内山雅生との共編著）岩波書店，2002年。
- 『周辺から見た20世紀中国——日・韓・台・港・中の対話』（横山宏章，川島真との共編著）中国書店，2002年。
- 『走向自立之路 兩次世界大戰之間中国的関税通貨政策和經濟發展』中国社会科学出版社，2004年。1999年刊本の中国語訳，王小嘉訳・朱蔭貴校閲。
- 『重慶国民政府史の研究』（石島紀之との共編著）東京大学出版会，2004年。
- 『戦間期中国の綿業と企業経営』汲古書院，2005年。
- 『1949年前後の中国——その政治・経済・社会構造の断絶と連続』（編著）信州大学，2005年。科研費研究成果報告書。
- 『1949年前後の中国』（編著）汲古書院，2006年。
- 『中国企業史研究の成果と課題』（中国企業史研究会編）汲古書院，2007年。
- 『現代中国の歴史——兩岸三地100年のあゆみ』（土田哲夫，高田幸男，井上久士との共著）東京大学出版会，2008年。
- 『20世紀中国経済史の探求』信州大学人文学部，2009年。科研費研究成果報告書。
- 『叢書 中国の問題群5 進化する中国の資本主義』（加藤弘之との共著）岩波書店，2009年。
- 『シリーズ20世紀中国史1（中華世界と近代）』（飯島渉，村田雄二郎との共編著，村田責任編集）東京大学出版会，2009年。
- 『シリーズ20世紀中国史2（近代性の構造）』（飯島渉，村田雄二郎との共編著，飯島責任編集）東京大学出版会，2009年。
- 『シリーズ20世紀中国史3（グローバル化と中国）』（飯島渉，村田雄二郎との共編著，久保責任編集）東京大学出版会，2009年。
- 『シリーズ20世紀中国史4（現代中国と歴史学）』（飯島渉，村田雄二郎との共編著）東京大学出版会，2009年。
- 『シリーズ中国近現代史(4)社会主義への挑戦 1945-1971』岩波書店（新書 赤版1252），2011年。
- 『中華民国の憲政と独裁 1912-1949』（嵯峨隆との共編著）慶応義塾大学出版会，2011年。

- 『近代中国を生きた日系企業』（富澤芳亜，萩原充との共編著）大阪大学出版会，2011年。
- 『中国経済史入門』（編著）東京大学出版会，2012年。
- 『華北の発見』（本庄比佐子，内山雅生との共編著）東洋文庫（東洋文庫論叢 76），2013年。
- 『華北の発見』（本庄比佐子，内山雅生との共編著）汲古書院，2014年。同名書の市販本。
- 『国家と秘密——隠される公文書』（瀬畑源との共著）集英社（新書 759），2014年。
- 『戦時期中国の経済発展と社会変容 日中戦争の国際共同研究 5』（波多野澄雄，西村成雄との共編著）慶應義塾大学出版会，2014年。
- 『歴史学が問う公文書の管理と情報公開——特定秘密保護法下の課題』（安藤正人，吉田裕との共編著）大月書店，2015年。
- 『アジア経済史研究入門』（水島司，加藤博，島田竜登との共編著）名古屋大学出版会，2015年。
- 『統計でみる中国近現代経済史』（加島潤，木越義則との共著）東京大学出版会，2016年。
- 『現代中国の起源を探る 史料ハンドブック』（中村元哉，大澤肇との共編著）東方書店，2016年。
- 『日中終戦と戦後アジアへの展望 日中戦争の国際共同研究 6』（波多野澄雄，中村元哉との共編著）慶應義塾大学出版会，2017年。

論文（雑誌掲載論文と書籍掲載論文の双方を混排）

- 「1920年代末中国の黄色工会——上海郵務工会の事例分析」『中国労働運動史研究』2，1978年。
- 「国民革命期の武漢労働運動に関する覚書——店員職人層の運動と中小ブルジョアジー」『中国労働運動史研究』6・7，1979年。
- 「南京政府の関税政策とその歴史的意義」『土地制度史學』86，1980年。
- 「日本の侵略前夜の東北経済——東北市場における中国品の動向を中心に」『歴史評論』377，1981年。
- 「1930年代中国の関税政策と資本家階級」『社会経済史学』47-1，1981年。
- 「幣制改革以降の中国経済」『中国の幣制改革と国際関係』（野沢豊編，東京大学出版会），1981年。
- 「戦間期中国経済史の研究視角をめぐって——「半植民地半封建」概念の再検討」『歴史学研究』506，1982年。
- 「上海労働統計の紹介と簡単な検討」『中国労働運動史研究』10，1982年。
- 「中国国民政府による関税政策決定過程の分析——1932-1934年」『東洋文化研究所紀要』92，1983年。
- 「国民政府の財政と関税収入」『中国史における社会と民衆』（増淵龍夫先生記念論集刊行会編，汲古書院），1983年。
- 「南京政府成立期の中国国民党——1929年の三全大会を中心に」『アジア研究』31-1，1984年。
- 「国民政府的政治体制和経済政策」『民国研究（南京）』1，1984年。
- 「国民政府による関税自主権の回復過程」『東洋文化研究所紀要』98，1985年。

- 「企業史資料集をどう読むべきか——『啓新洋灰公司史料』編集用史料カードの検討」『中国近代史研究会通信』18, 1985年。
- 「近代中国綿業の地帯構造と経営類型——その発展の論理をめぐって」『土地制度史學』113, 1986年。
- 「1935年幣制改革をめぐる研究動向——日本・中国における最近の動向を中心に」『近きに在りて』10, 1986年。
- 「国民政府期の中国労働運動——郵務工会の活動を中心に」『中国労働運動史研究』15, 1986年。
- 「南京政府の財政経済政策——1934-1937年の関税政策を中心に」『中国国民政府史の研究』（中国現代史研究会編, 汲古書院), 1986年。
- 「総論——国民政府の歴史的考察」（姫田光義との共同執筆）『中国国民政府史の研究』（中国現代史研究会編, 汲古書院), 1986年。
- 「(1986年の歴史学界, 回顧と展望) 中国——現代」『史学雑誌』96-5, 1987年。
- 「国民政府の輸出促進政策と中華工業国外貿易協会——1930年代中国における輸出志向工業化の模索」『東洋文化研究所紀要』103, 1987年。
- 「抗戦時期的中国的関税貿易問題」『民国档案与民国史学术討論会論文集』（档案出版社), 1988年。
- 「国民政府成立期の海関行政と日・英」『東洋史研究』48-1, 1989年。
- 「国民政府の経済政策史研究——その成果と課題をめぐって」『中国经济政策史の探求』（中国近現代経済史シンポジウム事務局編刊), 1989年。
- 「青島における中国紡——在華紡間の競争と協調」『社会経済史学』56-5, 1990年。
- 「中国資本紡の利益率に関する史料の補正と考察——『中国近代経済史統計資料選輯』第4章第45表をめぐって」『近代中国研究彙報』12, 1990年。
- 「近現代中国的対外貿易結構と工業発展」『対外経済関係与中国近代化』（章開沅・朱英主編, 華中師範大学出版社), 1990年。
- 「天安門以降の中国近現代史研究」『歴史評論』500, 1991年。
- 「民国期中国労働者の構成・意識・組織」（菊池敏夫との共同執筆）『歴史学研究』626, 1991年。
- 「内陸開発論の系譜」『長江流域の経済発展——中国の市場経済化と地域開発』（丸山伸郎編, アジア経済研究所), 1993年。
- 「戦時上海の物資流通と中国人商」『戦時華中の物資動員と軍票』（中村政則・高村直助・小林英夫編, 多賀出版), 1994年。
- 「世界史における民国時代」『日本の中華民国史研究』（野澤豊編, 汲古書院), 1995年。
- 「ヴェルサイユ体制とワシントン体制」『世界史講座6』（歴史学研究会編, 東京大学出版会), 1995年。
- 「中国内陸地域の企業経営史研究〔I〕——1920~30年代の民生公司をめぐって」『内陸地域文化の人文科学的研究Ⅱ』（信州大学人文学部), 1995年。
- 「対中国型資本主義理論的探討」『中国经济史研究』1996-4, 1996年。
- 「国民政府の政治体制と経済政策」『中国近代化の歴史と展望』（安井三吉他編, 法律文化

- 社), 1996年。
- 「近現代中国における国家と経済——中華民国期経済政策史論」『歴史のなかの現代中国』(山田辰雄編, 勁草書房), 1996年。
- 「日中関税協定と1930年関税」『東洋史研究』56-1, 1997年。
- 「中国内陸地域の企業経営史研究〔Ⅱ〕——1920~30年代の晋華紡績(山西)をめぐる」『内陸地域における文化の受容と変容』(信州大学人文学部), 1997年。
- 「中国工業生産額の推計1933年」(牧野文夫との共同執筆) *Discussion paper* (一橋大学経済研究所) no.D97-18, 1998年。
- 「『華北調査研究機関業績総合調査』に関する覚書」『科研費研究成果報告書戦前期中国実態調査資料の総合的研究』(課題番号07301075代表者本庄比佐子), 1998年。
- 「戦時華北の工場調査について」*Discussion paper* (一橋大学経済研究所) no.D98-10, 1998年。
- 「最近の中国近現代史研究の動向」(高田幸男との共同執筆)『歴史教育・社会科教育年報』1999年版, 1999年。
- 'Industrial output estimates in Republican China'(牧野文夫, 関権 Guan Quan との共同執筆) *Discussion paper* (一橋大学経済研究所) no.D99-14, 2000年。
- 「近代の国民経済の形成とナショナリズム」『現代中国の構造変動〔3〕ナショナリズム-歴史からの接近』(西村成雄編, 東京大学出版会), 2000年。
- 「關於民国時期工業生産總值的幾個問題」『歴史研究』(北京) 2001-5, 2001年。
- 「戦間期中国の経済政策と経済発展」『1930年代のアジア国際秩序』(秋田茂・籠谷直人編, 溪水社), 2001年。
- 「対外経済政策の理念と決定過程」『戦後中国国民政府史の研究1945-1949年』(姫田光義編, 中央大学出版部), 2001年。
- 「興亜院の中国実態調査」『興亜院と戦時中国調査』(本庄比佐子・内山雅生・久保亨編, 岩波書店), 2002年。
- 「周辺の要素の影響下における発展——近代中国企業経営史再考」『周辺から見た20世紀中国——日・韓・台・港・中の対話』(中国書店), 2002年。
- 「日本におけるアジア地域史論の省察」『周辺から見た20世紀中国——日・韓・台・港・中の対話』(中国書店), 2002年。
- 「今日の中華民国史研究——転換した中国近現代史像」『歴史学研究』779, 2003年。
- 「中国企業経営史上的華僑和留学生——周辺因素影響下的經濟發展」『企業發展中的制度變遷』(張忠民・陸興龍主編, 上海社会科学院出版社), 2003年。
- 「民国時期上海の工業金融——以金城銀行對於棉紡工業的融資為例」『上海金融的現代化与國際化』(復旦大学歴史学系他編, 上海古籍出版社), 2003年。
- 「中国1949年革命の歴史的位置」『歴史評論』654, 2004年。
- 「近代山東の經濟發展とドイツ及び日本」『信大史学』29, 2004年。
- 「戦時の工業政策と工業發展」『重慶国民政府史の研究』(石島紀之・久保亨共編著, 東京大学出版会), 2004年。
- 'The Tariff Policy of the Nationalist Government, 1929-36: A Historical Assessment', *Japan*,

- China, and the Growth of the Asian International Economy, 1850-1949* (Sugihara, Kaoru, ed., Oxford University Press), 2005年。
- 「民国時期中国的工業發展：新修訂指数1912-1948」『世界經濟体制下の民国時期經濟』（張東鋼主編，中国財政經濟出版社），2005年。
- 「近現代の中国と世界」『歴史学研究』815，2006年。
- ‘The Shandong Economy in Relation to Germany and Japan, 1910s-1930s’, *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 64，2006年。
- 「興亜院と戦時日本の中国調査」『近代中国：經濟与社会研究』（朱蔭貴・戴鞍鋼編，復旦大学出版社），2006年。
- 「1930年代中国的財政与財政官僚」『一九三〇年代的中国』上卷（中国社会科学院近代史研究所民国史研究室・四川師範大学歴史文化学院編，社会科学文献出版社），2006年。
- 「総論1949年革命の歴史的位置」『1949年前後の中国』（久保亨編著，汲古書院），2006年。
- 「対外貿易における変動と連続性，1940-1950年代」『1949年前後の中国』（久保亨編著，汲古書院），2006年。
- 「興亜院とその中国調査」『中国の地域政権と日本の統治日中戦争の国際共同研究：1』（姫田光義・山田辰雄編，慶應義塾大学出版会），2006年。
- 「近代山東經濟とドイツ及び日本」『日本の青島占領と山東の社会經濟 1914-22年』（本庄比佐子編，東洋文庫（東洋文庫論叢；第66）），2006年。
- 「中国とロシア革命——国民党，国民政府への影響を中心に」『ユーラシア研究』37，2007年。
- ‘The Koa-in’, *China at War: Regions of China, 1937-1945* (Stephen R. Mackinnon, Diana Lary, and Ezra F. Vogel ed., Stanford University Press), 2007年。
- 「国定税則委員会的作用和張福運」『張福運与近代中国海関』（程麟蓀・張之香主編，上海社会科学院出版社），2007年。
- 「戦時重慶の綿紡織業と国民政府」『信大史学』33，2008年。
- 「關於企業管理公司的新思考」『近代中国社会環境与企業發展』（張忠民・陸興龍・李一翔主編，上海社会科学院出版社），2008年。
- 「興亜院及其中国調査」『戦時中国各地区』（楊天石・庄建平編，社会科学文献出版社），2009年。
- 「『華北調査研究機関業績綜合調査』（1945年）」『戦前期華北実態調査の目録と解題』（本庄比佐子編，東洋文庫），2009年。
- 「全球化の奔流と主体としての中国」『シリーズ20世紀中国史〔3〕グローバル化と中国』（飯島渉・久保亨・村田雄二郎共編，東京大学出版会），2009年。
- 「統制と開放をめぐる經濟史」『シリーズ20世紀中国史〔3〕グローバル化と中国』（飯島渉・久保亨・村田雄二郎共編，東京大学出版会），2009年。
- 「日本の20世紀中国史研究」（飯島渉，村田雄二郎との共同執筆）『シリーズ20世紀中国史〔4〕現代中国と歴史学』（久保亨・村田雄二郎・飯島渉共編著，東京大学出版会），2009年。
- 「關於戦時華北工業普查」『城市史研究』（天津）26，2010年。

- 'China's Economic Development and the International Order of Asia', *The International Order of Asia in the 1930s and 1950s* (Akita, Shigeru and White, Nicholas J. ed., Ashgate), 2010年。
- 「近現代中国の財政史」『近きに在りて』59, 2011年。
- 「戦後歴史学と野澤豊の民国史研究」『近きに在りて』60, 2011年。
- 「東アジアの総動員体制」『岩波講座東アジア近現代通史第6巻アジア太平洋戦争と「大東亜共栄圏」1935-1945年』(和田春樹・後藤乾一・木畑洋一・山室信一・趙景達・中野聡・川島真共編, 岩波書店), 2011年。
- 「同時代日本の中華民国認識—矢野仁一の中国論を中心に」『中華民国の憲政と独裁1912-1949』(久保亨・嵯峨隆共編著, 慶応義塾大学出版会), 2011年。
- 「1950年代の中国綿業と在華紡技術」『近代中国を生きた日系企業』(富澤芳亜・久保亨・萩原充共編著, 大阪大学出版会), 2011年。
- 「戦後中国の経済自由主義」『リベラリズムの中国』(村田雄二郎編, 有志舎), 2011年。
- 「中国近現代史とどう向きあうか現代中国と歴史学」『日本歴史学協会年報』27, 2012年。
- 「辛亥革命百年中国と日本」『歴史教育・社会科教育年報』2011年版, 2012年。
- 「地域〔I〕中国」『社会経済史学の課題と展望2002-2012—』(社会経済史学会編, 有斐閣), 2012年。
- 「中国経済のあゆみと課題」『中国経済史入門』(久保亨編, 東京大学出版会), 2012年。
- 「財政史」『中国経済史入門』(久保亨編, 東京大学出版会), 2012年。
- 「内外における辛亥革命百周年記念活動」(深町英夫, 村田雄二郎との共同執筆)『新たなアジア研究に向けて』9, 2013年。
- 「近代中国経済政策与経済発展, 1930-1960年代」『近代国家的型塑: 中華民国建国100年国際学術討論会論文集』上冊(呉淑鳳他編, 国史館), 2013年。
- 「戦後東アジア綿業の複合的発展」『アジアからみたグローバルヒストリー——「長期の18世紀」から「東アジアの経済的再興」へ』(秋田茂編, ミネルヴァ書房), 2013年。
- 「華北地域概念の形成と日本」『華北の発見』(本庄比佐子・内山雅生・久保亨共編, 東洋文庫), 2013年。
- 「戦時中国の工業発展」13-39『戦時期中国の経済発展と社会変容日中戦争の国際共同研究5』(波多野澄雄・西村成雄・久保亨共編著, 慶應義塾大学出版会), 2014年。
- 「『義勇軍行進曲』の時代」『史料から考える世界史20講』(歴史学研究会編, 岩波書店), 2014年。
- 「戦前期工業」(牧野文夫との共同執筆)『アジア長期経済統計3中国』(南亮進・牧野文夫編, 東洋経済新報社), 2014年。
- 「外国経営史: 中国」『経営史学の50年』(経営史学会編, 日本経済評論社), 2015年。
- 「仁礼敬之の『北清見聞録』と黎明期のアジア主義」『アジア学の宝庫, 東洋文庫: 東洋学の史料と研究』(東洋文庫編, 勉誠出版), 2015年。
- 「二十世紀中国経済的国際環境——以第二次世界大戦後棉紡業の発展為例」『第三届近代中国与世界国際学術研討会論文集』第四巻経済・社会・学術(中国社会科学院近代史研究所編, 社会科学文献出版社), 2015年。

- 「〔東アジア〕近現代Ⅱ」『アジア経済史研究入門』（水島司・加藤博・久保亨・島田竜登共編著，名古屋大学出版会），2015年。
- 「小谷汪之『マルクスとアジア——アジア的生産様式論争批判』」『歴史学と， 出会う——41人の読書経験から』（歴史学研究会編，青木書店），2015年。
- 「序章」（安藤正人，吉田裕との共同執筆）『歴史学が問う公文書の管理と情報公開——特定秘密保護法下の課題』（安藤正人・久保亨・吉田裕共編著，大月書店），2015年。
- 「蘇俄在戦時中国：重慶国民政府経済専門家眼中的蘇連経済」『国共関係与中日戦争』（黄自進編，稲郷出版社），2016年。
- 「経済史」『現代中国の起源を探る史料ハンドブック』（中村元哉・大澤肇・久保亨共編著，東方書店），2016年。
- 「日中戦争史研究の現在と日中関係」『歴史評論』807，2017年。
- 「人文・社会科学の危機と歴史学」『現代歴史学の成果と課題（第4次-3）』（歴史学研究会編，績文堂出版），2017年。
- 「1940-50年代の中国経済と日中関係」『日中終戦と戦後アジアへの展望日中戦争の国際共同研究6』（波多野澄雄・久保亨・中村元哉共編，慶應義塾大学出版会），2017年。
- 「近代中国における機械工業の発展」『「大分岐」を超えて——アジアからみた19世紀論再考』（秋田茂編，ミネルヴァ書房），2018年。
- 「経済学者の社会主義憲政論——1957年の意見書草稿をめぐって」『憲政から見た現代中国』（中村元哉編，東京大学出版会），2018年。
- 「松本連隊の中国——満洲駐屯から南京，華北への侵攻まで」『信大史学』43，2018年。
- 「近代中国経済の変容と1930年代」『日中戦争はなぜ起きたのか—近代化をめぐる共鳴と衝突』（波多野澄雄・中村元哉編，中央公論新社），2018年。

書評

- 「読書ノート 平野正『中国革命の知識人』」『歴史評論』329，1977年。
- 「書評 浅田喬二編『日本帝国主義下の中国』」『社会経済史学』47-5，1982年。
- 「書評 イーストマン『国民党支配下の中国』について」『近きに在りて』2，1982年。
- 「書評 高村直助『近代日本綿業と中国』」『史学雑誌』92-6，1983年。
- 「書評 池田誠他『中国工業化の歴史』」（中国労働運動史研究会共同執筆）『東洋史研究』43-1，1984年。
- 「書評 浅田喬二『日本知識人の植民地認識』」『社会経済史学』52-1，1986年。
- 「書評 池田誠編『抗日戦争と中国民衆』」『歴史評論』458，1988年。
- 「書評 コーブル『上海の資本家と国民政府，1927-1937年』」『経済研究』（一橋大学）39-3，1988年。
- 「書評 WONG Siu-lun『移住してきた企業家たち』」『近きに在りて』18，1990年。
- 「書評 桑原哲也『企業国際化の史的分析』」『社会経済史学』57-1，1991年。
- 「書評 鈴木智夫『洋務運動の研究』」『史学雑誌』102-12，1993年。
- 「Book 木村郁二郎編『鄧中夏とその時代』，鮮烈な青春の記録」『東方』165，1994年。
- 「書評 中村 哲編『東アジア資本主義の形成—比較史の視点から』」『歴史学研究』688，

1996年。

- 〔書評 中井英基『張謇と中国近代企業』〕『社会経済史学』63-4, 1997年。
- 〔書評 黒田明伸『中華帝国の構造と世界経済』〕『土地制度史学』157, 1997年。
- 〔書評 中村哲『近代東アジア史像の再構成』〕『歴史評論』618, 2001年。
- 〔批評・紹介 籠谷直人『アジア国際通商秩序と近代日本』〕『東洋史研究』60-2, 2001年。
- 〔書評 森時彦『中国近代綿業史の研究』〕『歴史学研究』771, 2003年。
- 〔書評 高綱博文編『戦時上海——1937～45年』〕『歴史学研究』814, 2006年。
- 〔書評 庄維民・劉大可『日本工商資本と近代山東』〕(富澤芳亜, 吉田建一郎と共同執筆)『近代中国研究彙報』29, 2007年。
- 〔書評 羅志田『乱世潜流：民族主義と民国政治』〕『近きに在りて』54, 2008年。
- 〔書評 木越義則著『近代中国と広域市場圏——海関統計によるマクロ的アプローチ』〕『社会経済史学』79-1, 2013年。
- 〔書評 『新編 原典 中国近代思想史』全7巻〕(味岡 徹, 嵯峨 隆との共同執筆)『近代中国研究彙報』35, 2013年。
- 〔書評 王紅艶『「満洲国」劳工の史的研究：華北地区からの入満劳工』〕『経営史学』52-1, 2017年。
- 〔書評と紹介 白木沢旭児『日中戦争と大陸経済建設』〕『日本歴史』835, 2017年。
- 〔書評 加島潤『社会主義体制下の上海経済——計画経済と公有化のインパクト』〕『史学雑誌』127-10, 2018年。

その他 (史料編纂, 評論, 学会参加記, 講演記録, 概説への執筆参加, 辞書項目執筆など)

- 〔近代史シンポジウムに参加して〕(味岡徹との共同執筆)『歴史学研究月報』204, 1976年。
- 〔辞典項目執筆〕『大月経済学辞典』(経済学辞典編集委員会編)大月書店, 1979年。
- 〔〔研究会めぐり〕中国現代史研究会(東京)〕『近きに在りて』2, 1982年。
- 〔資料共編〕『東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説』上(佐伯有一らとの共編)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊 第40輯, 1983年。
- 〔目録共編〕『中国経済関係雑誌記事総目録(1)——『中外経済週刊』『経済半月刊』『工商半月刊』〕(佐伯有一, 濱下武志, 上野章との共編, 収録誌の解題執筆)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊; 別輯 8, 1983年。
- 〔辞典項目執筆〕『体系経済学辞典』(増田四郎ほか編)東洋経済新報社, 1984年。
- 〔年表共編〕『現代中国史』(田中正俊, 久保田文次, 今井駿共著)(井上久士との協同作業)山川出版社, 1984年。
- 〔よみがえる農村工業——高陽織布業調査の紹介〕『近きに在りて』7, 1985年。
- 〔スーツと中山服——“1984年の中国”留学記〕『近きに在りて』7, 1985年。
- 〔目録共編〕『中国経済関係雑誌記事総目録(2)——『国際貿易導報』〕(濱下武志との共編, 収録誌の解題執筆)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊; 別輯 11, 1985年。
- 〔目録共編〕『中国経済関係雑誌記事総目録(3)——『中行月刊』〕(濱下武志との共編, 収録誌の解題執筆)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊; 別

- 輯 12, 1985年。
- 〔中華民国期文書史料の紹介と検討〕『中国朝鮮文書史料研究』東京大学東洋文化研究所東アジア部門編, 1986年。
- 〔資料共編〕『東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説』下(濱下武志らとの共編)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊 第49輯, 1986年。
- 〔“対外経済関係与中国近代化国際学術研討会”参加記〕『近きに在りて』12, 1987年。
- 〔“民国档案与中華民国史国際学術討論会”の紹介(第一報)〕(石島紀之との共同執筆)『近きに在りて』12, 1987年。
- 〔目録共編〕『中国経済関係雑誌記事総目録(4)―『銀行週報』上〕(濱下武志, 本野英一, 上野章, 杉山登との共編, 収録誌の解題執筆)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊; 別輯 14, 1987年。
- 〔民国史学術討論会参加記〕『東方』85, 1988年。
- 〔翻訳〕張 玉法著「台湾における中華民国史研究」『近きに在りて』15, 1989年。
- 〔座談会〕「緊急座談会・中国情勢をどう見るか」(丸山昇, 田中正俊(筆名使用)との座談会)『歴史評論』473, 1989年。
- 『中国 民主と自由の軌跡——天安門事件の歴史的背景』(六四中国近現代史研究者声明有志連絡会編)青木書店, 1989年。
- 〔目録共編〕『中国経済関係雑誌記事総目録(5)―『銀行週報』下〕(濱下武志, 本野英一, 上野章, 杉山登との共編)東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター東洋学文献センター叢刊; 別輯 16, 1989年。
- 〔戦後国民党の中米関係論——『中央日報』社論(1946年分)の邦訳と解題〕(著者名「信大東洋史・史料講読ゼミ」, 学生との共同執筆)『信大史学』15, 1990年。
- 〔『新聞報』紹介〕『センター通信』(東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター) 33, 1993年。
- 〔上海開港150年シンポジウム参加記〕『近きに在りて』24, 1993年。
- 〔概説類への執筆参加〕『中国の近代と現代』(浜口允子編)〔第9章経済のあゆみ1, 第10章経済のあゆみ2〕放送大学教育振興会, 1993年。
- 〔概説類への執筆参加〕『中国20世紀史』(姫田光義他共著)〔第1章 近代国家への模索, 第2章2 経済近代化の波, 第5章1 国民政府の選択 他東京大学出版会, 1993年。
- 〔年表共編〕『世界史年表』(歴史学研究会編, 編集事務局の一人として参加)岩波書店, 1993年。
- 〔重慶と上海〕『しにか』(大修館書店) 5-6, 1994年。
- 〔アジア歴史資料センター設立問題について〕『歴史学研究』678, 1995年。
- 〔“東アジア経済の近代化”国際シンポジウム参加記〕『近きに在りて』28, 1995年。
- 〔第3回中華民国史国際シンポジウム参加記〕(川島 真・高田幸男との共同執筆)『近きに在りて』27, 1995年。
- 〔概説類への執筆参加〕『人物世界史 3 東洋編』(佐藤次高編)〔孫文・魯迅・宣統帝溥儀・蒋介石・毛沢東・鄧小平〕山川出版社, 1995年。
- 〔辞典項目執筆〕『近代中国人名辞典』(山田辰雄編)霞山会, 1995年。

- 「〈資料提供〉情報公開法と中国近代史研究」『近きに在りて』29, 1996年。
- 〔概説類への執筆参加〕『知っておきたい中国Ⅱ』（歴史教育者協議会編）〔Ⅲ-20民族運動の波頭に乗る政権—南京国民政府, 文献案内〕青木書店, 1996年。
- 「第12回中国近現代経済シンポジウム—中国の企業経営—近代の綿業経営を中心に—」『近きに在りて』34, 1998年。
- 〔概説類への執筆参加〕『中国史』（尾形勇・岸本美緒編）〔第7章中華復興の試み〕山川出版社, 1998年。
- 「シンポジウム「戦後中国の再建と改革」」『近きに在りて』35, 1999年。
- 「中国経済史学会第5回大会参加記」『近きに在りて』38, 2000年。
- 「『档案与上海史』国際学術討論会参加記」（岩間一弘・飯島 渉との共同執筆）『近きに在りて』37, 2000年。
- 「『中央日報』紹介」（中村元哉との共同執筆）『科研費研究成果報告書 中華民国国民政府史の総合的研究』課題番号09410099 代表者姫田光義, 2000年。
- 「『中央日報』社論の〔翻訳〕と解題」（大沢武彦ら9人との共同執筆）『科研費研究成果報告書 中華民国国民政府史の総合的研究』課題番号09410099 代表者姫田光義, 2000年。
- 〔辞典項目執筆〕『日本歴史大辞典』（永原慶二ほか編）小学館, 2000年。
- 「講演 興亜院の中国調査」『東洋学報』82-4, 2001年。
- 〔辞典項目執筆〕『角川世界史辞典』（西川正雄ほか編）角川書店, 2001年。
- 〔年表共編〕『世界史年表』第2版（歴史学研究会編, 編集事務局の一人として参加）岩波書店, 2001年。
- 〔概説類への執筆参加〕『中国経済論』（加藤弘之・上原一慶編著）〔20世紀の中国経済—発展と変化の道程—〕ミネルヴァ書房, 2004年。
- 「三報告に対するコメント(2)」『現代中国研究』19, 2006年。
- 「中国近代史研究をめぐる大学院生ネットワーク——兩岸三地歴史学研究生論文発表会」（川島 真との共同執筆）『UP』（東京大学出版会）35-12, 2006年。
- 〔概説類への執筆参加〕『中国歴史研究入門』（礪波護・岸本美緒・杉山正明編）〔「現代」1. 研究の視点, 2. 研究の展開(2)社会経済史, 3. 史資料の解説〕名古屋大学出版会, 2006年。
- 〔資料共編〕『世界史史料〔10〕20世紀の世界Ⅰ』（歴史学研究会編, 編集事務局の一人として参加）岩波書店, 2006年。
- 「江南百年の経済史—無錫綿紡績業を中心に—」『近きに在りて』52, 2007年。
- 「ON THE RECORD 経済の発展過程から見た上海」『東亜』（霞山会）475, 2007年。
- 〔翻訳〕・陳 謙平著「江南百年プロジェクト杭州会議 閉会の辞—20世紀中国史研究の新たな方法と視角」『近きに在りて』52, 2007年。
- 「〔特集〕再論・1949年前後の中国 巻頭言」『近きに在りて』53, 2008年。
- 「『1949年前後の中国』をめぐる対話——上原一慶氏と高橋伸夫氏の書評に依えて」（高田幸男, 丸山 鋼二らとの共同執筆）『近きに在りて』53, 2008年。
- 「羊肉餃子と張福運の20世紀中国——『シリーズ20世紀中国史』へのいざない(3)」『UP』（東京大学出版会）38-10, 2009年。

- 「中国資本主義の個性」『東亜』（霞山会）508, 2009年。
- 「五十年代中国研究に向けた国際協力——『一九五〇年代的中国社会：档案与民間史料研究班工作會議』参加記」頁『信大史学』35, 2010年。
- 「世界史 Q&A 近代中国の日本品不買運動について教えてください」『歴史と地理』（山川出版社）631, 2010年。
- 「野澤豊先生を想う」『歴史学研究月報』615, 2011年。
- 「近現代中国経済史研究の成果と課題 特集にあたって 第59号編集委員会（吉田建一郎、加島 潤、今井就稔との共同執筆）『近きに在りて』59, 2011年。
- 〔翻訳〕・陳 争平著「中国における近現代経済史研究」『近きに在りて』59, 2011年。
- 「(2012年度大会現代史部会の報告に対する) コメント」『歴史学研究』898, 2012年。
- 「学術會議の歴史基礎案——世界史未履修問題への対応をめぐる」『歴史評論』749, 2012年。
- 〔翻訳〕・陳 争平著「中国における近現代経済史研究」『中国経済史入門』”久保亨編, 東京大学出版会”, 2012年。
- 「講演 1930年代の中国と日中経済関係——国歌になる歌が生まれた時代」『経済史研究』（大阪経済大学）18, 2014年。
- 〔討論参加〕『共同討議日中関係なにが問題か——1972年体制の再検証』（高原明生, 菱田雅晴, 村田雄二郎, 毛里和子 編）岩波書店, 2014年。
- 「対談 日本と中国・東北アジア——経済史・地域研究の視点から」（松野 周治との対談）『経済』229, 2014年。
- 「高校歴史教育の見直しと「歴史基礎」案」『歴史評論』781, 2015年。
- 「「慰安婦」問題で日米の歴史家が連帯 メディアも偏った歴史観を正す報道を」Journalism305, 2015年。
- 「高校歴史教育のあり方をめぐって：「世界史」未履修問題表面化以来の日本学術會議の取組」『學術の動向』（日本学術會議）21-5, 2016年。
- 「高等学校に新設される『歴史総合』『大問題！子ども不在の新学習 指導要領』”子どもと教科書全国ネット編, 合同出版, 2016年。
- 「指導要領改訂に向けた中教審答申をめぐる」『歴史学研究』957, 2017年。
- 「歴史の風 日中開戦前夜の精衛脚（カン）石をめぐる」『史学雑誌』126-7, 2017年。
- 「開戦80年目の日中戦争認識」『日本学術會議中部地区會議ニュース』143, 2017年。
- 〔年表共編〕『世界史年表』第3版（歴史学研究会編, 編集事務局の一人として参加）岩波書店, 2017年。
- 「“ヨーロッパと東アジアにおける第二次世界大戦の記憶”會議参加記」『近代中国研究彙報』40, 2018年。

略歴

- 1976年3月 東京大学文学部東洋史学科卒業
1979年3月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了
1981年3月 同研究科 博士課程中途退学

1981年4月 東京大学東洋文化研究所助手（～1987年3月）

1988年4月 信州大学人文学部助教授（～1996年3月）

1996年4月 同 教授（～2018年3月）

この間、日本学術会議第22・23期会員、歴史学研究会委員長、『社会経済史学』編集委員などを歴任された。